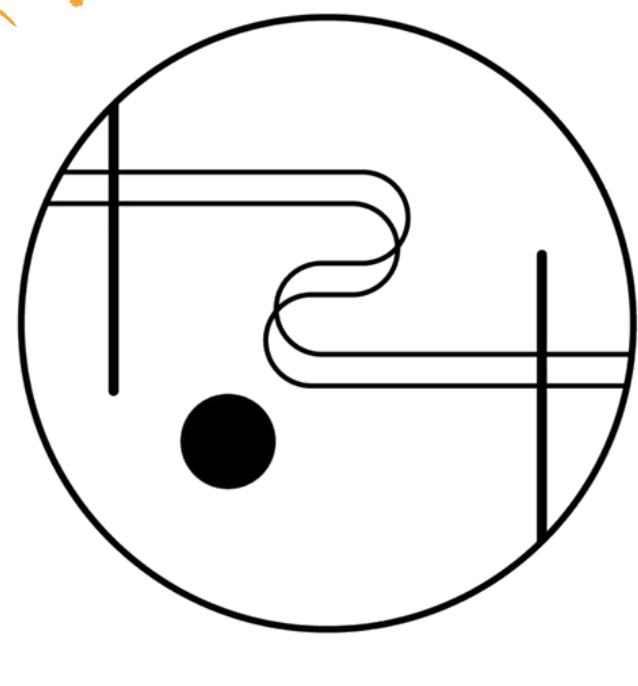


地酒とローカル食材を めぐる秋旅コース



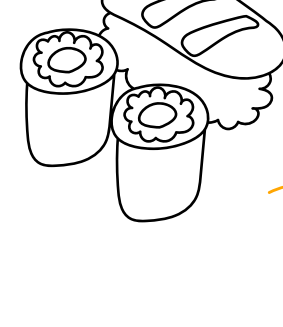
HORINOMISE

秋風を感じながらドライブして、滝や溪谷を散策。

道の駅や地元のお店に立ち寄って、

夜は古民家でのおんぼり。

日常を忘れる旅のはじまりです。



都心出発

9:00

朝の都心を抜け出して、秋の景色を求めて房総半島へ。圏央道・木更津東ICを目指して走れば、車窓には少しずつ広がる田園風景や色づいた木々が見えてきます。ドライブそのものが、旅の始まりを感じさせてくれる時間です。

道の駅

うまいたの里

10:00

最初の立ち寄りには『うまいたの里』。ここは地元農家から届く旬の野菜や果物、名物の落花生や加工品がぎっしりと並ぶ、房総の『おいしいもの』が詰まった場所。鮮やかな野菜や季節の食材に出会えると自然とワクワクして、夕食用に少し買ってあげば、古民家で過ごす夜がより特別な時間に。ドライブの合間に地元の恵みを知る、楽しい寄り道です。



久留里駅前

12:00

次は『水の町』久留里へ。『生きた水 久留里酒ミュージアム』では、名水百選に選ばれた湧き水や酒造りの歴史を学び、清らかな水で仕込んだ地酒の試飲も楽しめます。お気に入りの一本をお土産にすれば旅の記念に。近くのスーパー『おどや』では魚や肉も揃い、古民家ごはんの準備にぴったりです。



久留里駅

周辺でランチ

12:30

お昼は久留里駅周辺で。地元の人たちに愛される定食屋や郷土料理のお店が点在し、旅の合間にほっと一息つけるスポットです。少し早めにランチをとって、落ち着いた町並みや地元の人々の暮らしを感じながら過ごす時間は、旅ならではの贅沢。気取らない味わいに、この土地の魅力を一層感じられます。



詳しくは
こちら▼

養老溪谷でランチ

13:00

もし少し足を延ばす余裕があれば、養老溪谷の近くで紅葉を眺めながらのランチも素敵です。溪谷沿いに点在するお店では、地元の山菜料理や川魚など、季節を感じられるメニューも。窓の外に広がる景色とともにいただけば、それだけで秋の旅気分が高まります。



栗又の滝ドライブ

14:00

午後は紅葉に染まる溪谷をドライブ。道の両脇を彩る赤や黄色の木々に囲まれながら走る道は、まるで絵の中を進んでいるよう。栗又の滝に着いたら展望台から滝を見下ろすと、その迫力と色彩に思わず息をのみます。滝の音を聞きながら散策するひとときは、都会では味わえない心地よさです。



一棟貸し古民家の宿

『ほりのみせ』チェックイン

15:00

そして旅の終着点は『ほりのみせ』。一棟貸しの古民家は、どこか懐かしく、それでいて心地よい空間。道の駅やスーパーで仕入れた食材を囲炉裏やキッチンで調理して、みんなで食卓を囲めば、それだけで特別な時間に。縁側に座って夕暮れを眺めたり、夜は星空を見上げたり。何もしない贅沢と、仲間や家族との語り合いが待っています。

